



# すいた市議会だより

No.330

## 2月定例会号

編集：議会広報委員会 発行：吹田市議会 ©吹田市泉町1丁目3番40号 ©直通電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

◎市議会のホームページは   (<https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html>)

◎本会議のインターネット放映(生中継・録画放映)を実施しています。「議会中継(インターネット)」からぜひご覧ください。

定例会の概要

代表質問

質問

常任委員会

百条委員会

議決結果

議会日誌

4年間の取り組み



政務活動費の不明瞭な入出金等に係る調査特別委員会の調査結果を報告しました。  
(写真は関係者を証人として聞き取り調査を行う様子)

### 5年度当初予算、 総額2,638億円を可決

### 100条委員会調査報告書を可決

2月20日から3月23日までの会期で2月定例会を開きました。市長提出の令和5年(2023年)度当初予算は、一般会計、8特別会計および水道・下水道事業会計で総額263

8億円となっております。このほか、65歳以上の高齢者に対しギフトカードを配付する高齢者施策推進事業の経費を計上した令和4年(2022年)度一般会計補正予算(第14号)な

ど、市長から提出された59件の議案はすべて議決等を行いました。

また、議員からは、意見書案など10件の市会議案が提出されたほか、政務活動費の不明瞭な入出金等に係る調査特別委員会(通称…100条委員会)の委員長が調査結果報告を行い、その調査報告書を可決しました。(委員会での審査内容の一部は8〜12面に、100条委員会の調査報告は13面に、議決結果等は14、15面に掲載)

なお、今議会は議員任期の最終の定例会に当たるため、4年間の市議会の主な取り組みをまとめました。(17〜20面に掲載)

#### 主な掲載内容

- 2月定例会の概要…………… 1
- 代表質問・質問(個人質問)… 2~7
- 常任委員会の審査から…………… 8~12
- 100条委員会調査報告…………… 13
- 議決結果…………… 14、15
- 議会日誌、告発等…………… 16
- 4年間の市議会の主な取り組み…………… 17~20

# 代表質問・質問について

2月27日、28日、3月1日、2日の4日間で31人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。また、記事の内容は令和5年2月定例会の代表質問・質問時点のものです。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。

なお、新型コロナウイルス感染症については、新型コロナと略して表記しています。

## 代表質問

今定例会では6会派が代表質問を行いました。



吹田党  
石川 勝

### 高齢者の在宅療養の環境整備を

**問** 超高齢化社会の中で、高齢者が在宅療養で支える仕組みを構築していく必要があるが、福祉分野の人材は不足しており、確保が必要である。加えて、人材の定着支援も強化すべきと考えるが、今後の展望を問う。

**答** 人材不足について、喫緊の課題と認識しており、人材の定着支援を図るとともに、幅広い関係機関との連携を探りつつ、人材確保に努める。  
**答市長** 市の役割は新たな人材確保と定着を促進することであり、引き続き、効果的な方策を模索していく。

### 市内事業者との連携強化を

**問** 行政として、企業や事業者からの提案を受けられる仕組みを構築し、市内の事業者等の力を活用するべきと考えるが、今後の見解を問う。  
**答市長** 行政サービスの充実につながる提案をいただくことはうれしいが、事業の原資が税金で、透明性、公平性の担保を強く求めている。一方、公平性を過度に追求し、創造性を阻害すべきでないとも感じている。



自由民主党  
藤木 栄亮

### 新型コロナウイルスワクチンコールセンター委託業務の不正を問う

**問** 新型コロナウイルスワクチンコールセンター委託業務において、再委託先事業者が虚偽報告を行い、それに伴い受託事業者から過大請求を受けていた不正事案が発覚した。今後、市は再発防止にどう取り組んでいくのか。

**答** 今回の事案を受け、今後オペレーターの稼働履歴のデータ等を活用し、受託事業者の報告に疑義がないかを十分に検証するとともに、可能な範囲で現地を確認するよう努める。

### 学校部活動の地域移行について

**問** 国は、学校部活動の地域移行を、令和5年度からの3年間で改革推進期間とし、可能な限り早期の実現を目指すとしている。本市では部活動の地域格差も生じており、教育機会の不平等解消のためにも、他市の先行事例を参考に、可能な範囲で移行を進めたいと思うが、見解を問う。  
**答教育長** 持続可能なスポーツ・文化芸術活動の機会確保のため、早期の環境整備が重要だと考えている。



民主・立憲フォーラム  
山本 力

### 行財政運営の見通しについて

**問** 中核市移行により強化された本市の行政力等が、今後も継続されることを期待している。そのために必要となる健全な行財政運営について、本市の今後の見通しを聞きたい。

**答** 市税収入に加えて国の補助金等の確保にも努め、将来にわたり中核市の権限を発揮し続けられる持続可能な行財政運営の維持を図るとともに、必要な投資を進め、誰もが安心して健やかに暮らせるまちを目指す。

### 市の潜在能力を生かして持続可能な市民サービスを

**問** 本市は、交通利便性の高さやこれまでのもちづくりの成果等もあり、人口が増加している。将来にわたり市民サービス等を持続的に提供していくため、人口増加にも見られるような本市の恵まれた潜在能力等を、今後どう生かしていくのか。  
**答市長** 人口増加に伴う健全な財政状況を基盤に、市民の命と暮らしを守り支え、さらに魅力を高めるための高質なまちづくりに生かしていく。



公明党  
小北 一美

### 健都での取り組みの発信を

**問** 健都での画期的な取り組みは、他市ではできない本市ならではの誇るべきものである。本市の魅力向上につながるためにも、より一層健都の情報発信に努めるべきではないか。

**答**市長 健都の取り組みを広く発信し、産学官民連携を促すことは、さらなる機能強化につながるため、専門領域での発信も含め、認知度がさらに高まるよう取り組んでいく。

### 北千里駅前の再整備について

**問** 北千里駅前の再整備における高層建築物の建設案に対し、地域住民から反対の声が多く上がっている。今後、再開発を担う民間企業等と地域住民が意見交換をできるように市が支援を行うなど、地域理解を得たうえで再整備を進めるべきでないか。

**答**市長 北千里地区に100mを超える高層建築物が存在する姿は、景観上、調和するものとは考えていない。事業成立性の制限の下ではあるが、地域理解が得られるような計画により、再整備に取り組んでいく。



日本共産党  
塩見 みゆき

### 子ども医療費窓口負担をゼロに

**問** 子ども医療費の窓口負担は、一人当たり月2500円が上限だが、多子世帯では負担が重くなる。窓口負担を撤廃した場合の経費を示し、市独自で窓口負担ゼロを実施せよ。

**答** 一部自己負担を撤廃した場合は、令和3年度実績では約3億1000万円が必要となる。一部自己負担は、医療の適正受診の観点から一定の負担は必要と考えており、引き続き幅広い子育て支援施策の充実に努める。

### 障害者の暮らしの場を整備せよ

**問** 高齢の親が、障害のある子を介護する老健介護問題が深刻化する中、重度障害者等の施設整備は急務である。土地の確保など積極的な施設整備促進策を進めるプロジェクトチームが必要と考えるが、所見を問う。

**答** 重度障害者の施設整備は、重要課題であり、事業所へアンケートを実施し、老健介護や重度障害者のニーズを把握する。また、必要な予算の確保に努め、市有地活用も含めた効果的な支援体制の整備を検討する。



大阪維新の会・吹田  
馬場慶次郎

### 保育ステーションについて

**問** 流山市では、駅前の保育ステーションでいったん子どもを保育し、市内の指定保育所へバスで送迎する仕組みがある。7年前に一度提案しており、市でも検討されたと考ええるが、改めて採用について見解を問う。

**答** 過去に待機児童の解消策として検討したが、多くの課題から実施に至らなかった。保育所等の整備が進み待機児童が解消される中、交通事情等を踏まえ、検討が必要と考える。

### バリアフリー設備設置への補助

**問** 高齢者の外出支援のため、手すり等を店舗に設置する必要がある。小規模事業者持続化補助金では、バリアフリー設備の設置が可能だが、店舗への周知方法を示せ。また、店舗のバリアフリー化に向け、市独自の補助制度を検討すべきではないか。

**答** 国の制度であり、補助対象が広く、市での周知は限界がある。また、バリアフリー化に特化した制度はないが、活用可能な制度があり、福祉部とも連携し、情報提供等に努める。

## 本会議等のインターネット放映を実施しています

より多くの市民へ開かれた議会を目指すため、本会議や予算常任委員会(全体会)のインターネット放映を実施しています。インターネット放映は、パソコンのほか、スマートフォン等の携帯端末からでも視聴できます。

市議会ホームページの「議会中継(インターネット)」からアクセスして、ぜひご覧ください。



議会中継



# 質問(個人質問)

今定例会では25人の議員が質問(個人質問)を行いました。



日本共産党  
玉井美樹子

## 夜間の機械警備導入は慎重に

**問** 学校への機械警備の導入によって、夜間は無人となるが、災害対応や地域への学校開放はどうなるのか。各学校で仕様は異なり、一律の導入は困難と考えるが、所見を問う。  
**答** 校区防災要員に警備を解除するICカードを配付し、災害時の避難所開設を行う。導入時は学校の状況に応じて運用し、利用者の意見を聞き、丁寧かつ影響を最小限に進める。



公明党  
井上真佐美

## ヤングケアラー支援の強化を

**問** 令和4年10月からヤングケアラーがいる家庭へのヘルパー派遣事業が実施されたが、この課題は複数の所管にまたがるため、関係機関の連携が重要である。全庁横断的な支援体制の整備について、所見を問う。  
**答** 市長 多様な事例に対応するため、すべてをカバーする組織が必要である。行政内部や外部の組織と連携し、有効な支援体制の構築を検討する。



民主・立憲フォーラム  
木村 裕

## 北千里駅前の再整備を問う

**問** 北千里駅前の再整備における高層建築物の建設案には、地域住民は納得していない。必要な機能を確保しつつ、持続可能なまちづくりとなるよう再整備を進めるべきと考えるが、同案に対する市長の見解を問う。  
**答** 市長 同駅前と同案の建築物は適さないと考えており、地権者の合意と事業成立性という条件を解決する案を示すよう準備組合に求めていく。



公明党  
浜川 剛

## インフルエンザ予防接種費用を困窮世帯の子どもへ助成せよ

**問** 子どもがインフルエンザにかかれば、看病で仕事を休まざるを得ず、収入が減少し困窮する世帯も存在する。予防接種費用は高額であるため、独り親世帯等への助成制度を創設すべきと考えるが、市の見解を問う。  
**答** その他の助成対象の検討等も必要のため、現時点では、さらなる議論が必要であると考えている。



大阪維新の会・吹田  
高村 将敏

## 子どもに部活動の選択肢を

**問** 学校に希望する部活動がない場合、合同部活動の実施等で、子どもの選択肢は広がる。学校間の公平な立場を保障しつつ、教育委員会が主体で、制度設計等を行うてはどうか。  
**答** 外部委託を含めた持続可能な体制づくりを検討している。また、現行制度では、合同部活動等の充実を図るなど、生徒のニーズに少しでも応えられるよう、柔軟に対応する。



吹田党  
後藤 恭平

## 納税者が納得する予算編成を

**問** 令和5年度一般会計予算で、歳入予算の多くが現役世代の納税で賄われている事実がある。現役世代が納得する事業が求められるが、予算編成の考え方について、所見を問う。  
**答** 市民生活への支援は、特定の要件を満たす対象への支援が中心で、子育て世帯への支援等を重点的に進める。市の取り組みに対し、納得感等を高めてもらえるよう努める。



党派はなし  
斎藤 晃

## パソナへの委託業務の市の責務

**問** 新型コロナワクチンコールセンター業務の委託先であるパソナが虚偽報告を行った不正事案であるが、現地確認等をせずに支払い続ける本市の対応は、皆さんで疑念を抱かれる。経緯等を市民に説明すべきでないか。  
**答** 市長 指摘はもつともであり本市にも責任がある。パソナへは背景や対応のレポートの提出を求めており、それを公開するなどし責務を果たす。



公明党  
野田 泰弘

### #7119の周知徹底を

**問** 新型コロナウイルスの影響もあり、緊急性の乏しい119番通報が後を絶たない。救急車の適正利用のため、救急車を呼ぶべきかを電話で相談できる救急安心センター#7119の周知が有効と考えるが、見解を示せ。

**答** #7119の周知は、真に救急医療が必要な傷病者に救急車が向かうために非常に重要で、今後もSNSなどを通じ、周知徹底に努める。



自由民主党絆の会  
石田 就平

### オーラルフレイル対策について

**問** 歯科口腔保健向上のため、オーラルフレイル対策は重要である。同対策を長い目で見れば、生涯を通じて切れ目のない歯科健診体制の構築が必要と考えるが、市の見解を問う。

**答** 現在、高校卒業後30歳になるまでは、公的な歯科健診を実施していないため、今後切れ目のない歯科健診体制の構築に向け、成人歯科健診の対象年齢の引き下げを検討していく。



日本共産党  
益田 洋平

### 介護人材確保のための支援策を

**問** 令和5年度から委託型地域包括支援センターに職員を1名増員し、各法人に配置する予算が提案されたが、専門職の確保は厳しいと聞く。人材確保に効果的な支援が必要と考えるが、職員確保の見込みを問う。

**答** 一定、人材確保のめどはあると考えるが、見込みについて改めて受託法人から最新の状況を聞き取り、必要に応じた支援を行っていく。



公明党  
矢野伸一郎

### 特殊詐欺被害を防止せよ

**問** 本市の特殊詐欺認知件数は年々増加しており、これまでに以上に被害防止対策を強化すべきと考える。警察との連携など、市が取り組んでいる具体的な対策を聞きたい。

**答** 吹田警察署や庁内関係部局等を構成員とした連絡会議を定期的開催し、連携を図るとともに、SNSを活用した啓発強化など、これまでに以上に周知活動に取り組んでいる。

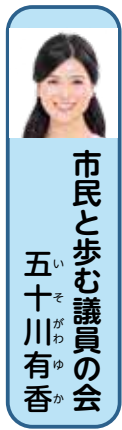


市民と歩む議員の会  
池淵佐知子

### 公園の魅力向上と防災対応

**問** 公園には災害対応の設備が必要であると考えますが、魅力向上事業の対象となっている公園の防災、災害対応状況について聞きたい。

**答** 同事業対象の主要な都市公園では、防災機能の充実が必要である。すでに再整備工事に着手した公園では、防災物品の収納場所を設けた便所の設置等を予定し、他の公園でも防災機能の充実を検討していく。



市民と歩む議員の会  
五十川有香

### 子どもの権利条例策定について

**問** 令和5年4月に施行されることも基本法を受け、他市ではすでに条例策定が進められている。同法の内容を各施策に反映、整理等するため、本市も条例策定をしようかと。

**答** 令和5年の秋頃、国において子ども施策を総合的に推進する基本方針等を定めた、こども大綱が策定予定である。こども家庭庁の動向に注視し、他市事例も踏まえ、対応する。

## 声の市議会だより、市議会だより点字版を発行しています

視覚に障がいのある方や、活字を読むのが困難な方にも、十分な情報提供を行うため、市議会だよりの音声版(CD版およびデージー版)や点字版を発行し、希望者に無料で配布しています。

利用を希望される方は、議会事務局(電話06-6384-2663)まで御連絡ください。



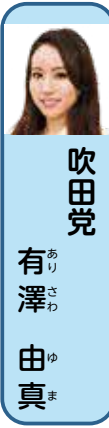


自由民主党 白石透

### 北千里駅前再開発について

**問** 北千里駅前の再開発に向け、現在、民間施行で取り組みが進んでいる。事業者による再開発に必要な財源の調達方法や、高層マンションを建てる計画となった理由を聞きたい。

**答** 主な財源は建物の高度化により、新たに生み出した床の売却益である。また、必要な機能を配置したうえで、再開発事業の成立に必要な住宅等の床面積確保のため、同計画となった。



吹田党 有澤由真

### 図書館の存在意義と未来

**問** 本市の図書館は、機能の充実等に取り組んだことで、市民が行きたくなる図書館を実現したと考える。本市における図書館の存在や今後の発展について、市長の所見を問う。

**答** 市長の文化拠点として多様な役割を果たしており、今後は、利用者の想像力を育み高める知的情報拠点として、紙の図書を提供し、市民に愛され続けることを期待する。



民主・立憲フォーラム 川本均

### 孤立・孤独対策について

**問** 国は孤立・孤独の全体像を把握するため全国調査を実施し、結果を公表した。その調査結果を受け、本市は今後どのように取り組むのか。

**答** 相談支援、参加支援、地域づくり支援の一体的実施による重層的支援体制整備事業の準備が、地域課題に対応可能な仕組みづくりにつながると考える。関係部局と連携し、実効性のある事業となるよう検討する。



大阪維新の会・吹田党 橋本潤

### 習い事等への助成を実施せよ

**問** 子どもたちの可能性を引き出すために、習い事等への助成といった施策は、早期学齢から実施すべきと考える。同施策を実施する可能性や対象年齢について、市の所見を問う。

**答** 子どもの現在と将来が、生まれ育った環境に左右されず、文化やスポーツの習い事を含むさまざまな活動を適切な学齢で経験できるように、先進市の事例を参考に検討していく。

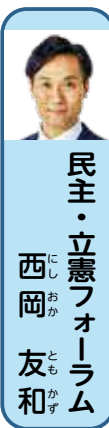


日本共産党 村口久美子

### 隠れ待機児童問題の解決を

**問** 市は、就学前児童数は減少すると見込み、保育所整備に積極的ではない。安心して生み育てられる社会でなければ、少子化は止められないと考えるが、隠れ待機児童を解決すべき課題という問題意識はあるのか。

**答** 家庭によって保育ニーズが異なることは理解している。国基準では待機児童とならないケースのニーズも、できるだけ対応し続ける。



民主・立憲フォーラム 西岡友和

### 北千里駅前再開発事業について

**問** 北千里駅前に36階建て、123mのタワーマンションは必要ない。構想を白紙にして計画を再考し、再度、環境影響評価を行う段階であると考えているが、市の所見を問う。

**答** 現在、地域等との意見交換の場の設置を、準備組合と協議している。計画の再考については、再開発事業の成立性が確保される範囲で、意見交換のうえ、規模感の整理等を行う。

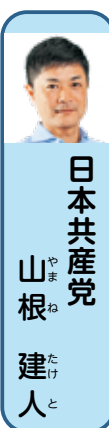


大阪維新の会・吹田党 井口直美

### 地域の防災訓練の充実を

**問** 令和4年度吹田市地域防災総合訓練で実施された体験型の訓練等を、各自主防災組織でも活用し、地域の防災訓練に取り入れることで、訓練も充実すると考えるが、所見を問う。

**答** 今後、WEB体験型のコンテンツの活用についても先進事例を参考に調査・研究するとともに、地域等で主体的に取り組む防災企画に対して、後押しができるよう努めていく。



日本共産党 山根建人

### 福祉事業所に物価高対策支援を

**問** 大阪府の令和5年1月の消費者物価指数は、前年同月比で5・1%上昇している。約7000品目が値上げする影響は福祉事業所を直撃しているが、前回のノウハウを生かし、早期に支援金を再給付すべきでないか。

**答** 令和5年に府が社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金を給付し、現時点で、市での実施予定はないが、今後も国、府の動向を注視していく。



日本共産党  
柿原 真生

ギャンブル依存症への対策を

**問** ギャンブル依存症は、健康問題や経済問題に加え、家庭問題や自殺等の社会的問題の要因にもなると考えるが、市の課題認識と対策を問う。

**答** 病気と理解されにくいことや医療機関等の情報不足を背景に、本人が相談できずに問題を抱え込み、深刻化することが課題と認識する。個別支援と正しい知識の啓発活動により、本人や家族への支援につなげる。



日本共産党  
竹村 博之

不登校児童・生徒の支援強化を

**問** 昨年度の不登校者数は過去最大の24万人となった。フリースクールへの補助など支援強化が必要だが、本市の状況や今後の取り組みを示せ。

**答** 不登校児童・生徒数は小学校263名、中学校422名。新たな教育支援教室の開設やスクールカウンセラーの拡充配置等を検討する。また、フリースクールについて関係部局と連携を図り、情報収集に努める。



自由民主党の会  
泉井 智弘

留守家庭児童育成室について

**問** 市から留守家庭児童育成室へ提供される教材費が少ないことから、保護者が教材費を補填しているのは問題である。保護者会の加入の有無で生じる問題等もあるため、教材費が足りていないのであれば、市が責任を持って負担すべきでないか。

**答** 指摘の公費で負担すべき教材費は、公費で負担できるよう、令和6年度を目指して検討していく。



自由民主党の会  
里野 善徳

自治会活動補助金の見直しを

**問** 自治会活動補助金を地区連合自治会に交付しているが、20年以上も補助額が変わっていない。昨今の物価高騰の影響等もあり、これまでと同様の活動が難しくなってきたため、同金額を見直すべきでないか。

**答** 物価高騰等が、自治会活動に影響を与えていると認識しており、補助金を含め、自治会への効果的な支援の在り方を総合的に検討していく。

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。なお、本会議については、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。(速報版は、本会議最終日(討論・採決)から、おおむね20日以内にその会期中の会議録を掲載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



市議会のホームページ

本会議録の速報版の閲覧方法

①をクリックすると、閲覧したい日の会議録が選べます。

会議録検索システムの閲覧方法

②をクリックすると、検索システムのトップ画面が表示されますので、右上にある「検索」ボタンをさらにクリックし、表示された画面内の対象年、キーワード、発言者、会議の種類などの条件を絞り込めば、質問や答弁を検索することができます。



会議録検索システム



## 常任委員会の審査から

※分科会や委員会の質疑内容等は、委員会記録をご覧ください。また、本会議での賛否の状況は、14、15面の議決結果をご覧ください。  
なお、文教市民常任委員会には付託案件はありません。

### 主な付託案件

- 議案第21号 令和5年度一般会計予算  
総額1,563億2,670万円、前年度比3.5%の増
- 議案22～29号 令和5年度特別会計予算(国民健康保険等8件)  
総額771億4,844万円、前年度比0.3%の増
- 議案第30号、31号 令和5年度事業会計予算(水道、下水道)  
総額304億391万円、前年度比8.8%の増
- 議案第32号 令和4年度一般会計補正予算(第14号)  
65歳以上の高齢者に対し生活支援のためのギフトカードの配付に伴う費用、3億8,996万円の増額補正

予算常任委員会には予算案22件が付託されました。  
主な付託案件および審査内容・結果は、次のとおりです。

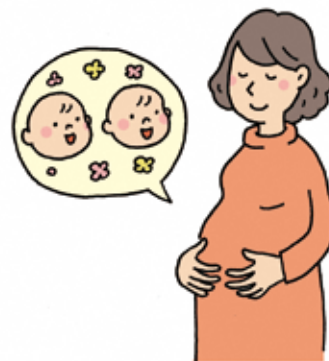
予算常任委員会  
〔審査案件〕  
予算関係の議案

### 議案第21号 令和5年度一般会計予算

賛成多数で  
承認

#### 〈主な内容〉

- 庁舎管理事業ほか** **230万円**  
公用自動車の一部に電気自動車を導入および充電設備の設置に係る経費
- 公立保育所管理事業ほか** **4,751万円**  
重大な事故等の発生リスクが高い樹木(危険木)について診断調査を実施、診断調査結果に基づきせんてい・植替等業務の実施に係る経費
- 国民年金事業** **255万円**  
出張所に来所された方からの年金相談を、本庁職員がオンラインの画面を通じて受けることができる遠隔相談窓口システムの導入に係る経費
- 母子健診事業** **66万円**  
多胎妊婦に対し、妊婦健診にかかる費用を最大5回まで上乗せする助成の実施に係る経費
- 人権推進事業** **2万円**  
一方または双方が性的マイノリティー当事者である2人が、お互いを人生のパートナーとし、日常生活において協力し合う関係であると宣誓した事実を市が公に証明する制度の実施に係る経費
- 特定教育・保育施設等運営支援事業ほか** **6,940万円**  
保育所等や障害児通所支援事業者に対して、送迎用バスの安全装置設置に係る経費や、ICTを活用した子どもの見守り支援等に係る経費
- 妊娠・出産包括支援事業** **186万円**  
住民税非課税世帯または同等の所得水準である妊婦に対する初回の産科受診料の助成に係る経費





○都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設・千里丘朝日が丘線用地取得事業  
6億1,502万円

都市計画道路千里丘朝日が丘線における未整備区間(千里丘工区)の整備に係る経費



事業後の完成予想図

○小・中学校給食事業

11億3,935万円

子育て世帯への経済支援策として、小学校給食費の無償化および中学校給食費の半額補助の実施に係る経費



小学校給食の様子

〈総括質疑の主な質疑項目〉

- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類移行後も、引き続き、同感染症・物価高騰緊急対策アクションプランとして本市独自の施策を実施する必要性
- 増加傾向の不登校児童・生徒について、市と教育委員会が連携し公共施設の活用を含めた居場所などを早急に確保する必要性
- 市の各種計画等と適合した市有施設の管理などを経営戦略の視点でマネジメントするため、資産経営室により一層強い権限と責務を与える必要性

〈反対意見の概要〉

○市長の政治姿勢は、市民の健康や命、暮らしを守るといふ、地方自治体の長としての一番の役割を軽視しているとしか言えない。まちづくりや子育て、福祉施策に対し、住民や当事者に対して傾聴も対話も行わないまま決定し、公的責任を後退させる市長の政治姿勢は問題であると指摘し、本案に反対する。

議案第32号 令和4年度一般会計補正予算(第14号)



○高齢者施策推進事業 3億8,996万円

65歳以上の高齢者に対し生活支援のためのギフトカードの配付に係る経費



〈反対意見の概要〉

○物価上昇の影響を受ける高齢者の経済的負担を軽減しようとする本案の趣旨には反対しないが、総予算に占める事務的経費が約3割と無駄が多く、市民理解が得られるとは考えられない。また、一人当たり3,000円という金額も、他市に比べ少額であり、効果も限定的である。提案理由として挙げた高齢者からの声の件数も調べていないことや、電子決済システムの高齢者の利用率も把握せず、電子決済へのポイント付与ではなくギフトカードを選ぶなど、提案内容、提案理由ともに不十分であるため、本案に反対する。

定例会の概要  
代表質問  
質問

常任委員会

百条委員会

議決結果

議会日誌

4年間の取り組み

## 付託案件

議案第3号 会計年度任用職員の給与等条例の一部改正  
 会計年度任用職員の期末手当の改定を行うものです。

財政総務常任委員会には条例案  
 1件が付託されました。  
 付託案件および主な審査内容・  
 結果は、次のとおりです。

財政総務常任委員会  
 【審査分野】  
 防犯・防災、消防、行財政など

## 議案第3号 会計年度任用職員の給与等条例の一部改正

全員賛成で  
 承認

### 〈主な質疑項目〉

- 支給割合の引上げ幅が一般職職員と異なる理由
- 期末手当の改定に伴う予算への影響額



## 付託案件および継続審査案件

議案第5号 重度障がい者の医療費の助成条例等の一部改正  
 大阪府の福祉医療費助成制度の変更に伴い、助成対象者の範囲を拡大  
 するものです。

議案第6号 国民健康保険条例の一部改正  
 国民健康保険法施行令等の改正内容に準じ、保険料の賦課限度額の改  
 定等を行うものです。

議案第123号(令和4年) 障害者支援交流センターの指定管理者の指定  
 (継続審査案件)  
 社会福祉法人さつき福祉会を、令和5年4月1日から令和15年3月  
 31日まで指定管理者に指定するものです。

健康福祉常任委員会には条例案  
 2件が付託されました。  
 付託案件、継続審査案件および  
 主な審査内容・結果は次のとおり  
 です。

健康福祉常任委員会  
 【審査分野】  
 福祉、医療、子育てなど

## 議案第5号 重度障がい者の医療費の助成に関する条例等の一部改正

全員賛成で  
 承認

### 〈主な質疑項目〉

- 本条例改正による新たな助成対象者数の見込み
- 大阪府の福祉医療費助成制度の変更に伴う府内各市町村の対応状況

## 議案第6号 国民健康保険条例の一部改正

全員賛成で  
承認

### 〈主な質疑項目〉

- 賦課限度額の改定における本市の裁量の有無
- 本市における出産費用の実状と出産育児一時金の増額に対する市の考え
- 本条例改正以外の保険料軽減策の検討状況



定例会の概要

代表質問

質問

常任委員会

百条委員会

議決結果

議会日誌

4年間の取り組み

## 議案第123号(令和4年) 障害者支援交流センターの指定管理者の指定(継続審査案件)

全員賛成で  
承認

※11月定例会からの継続審査案件であり、審査の結果を2月定例会にて報告しました。

### 〈11月定例会の主な質疑項目〉

- 選定委員会委員の施設見学による選定の公平性への影響の有無
- 委員の欠席連絡を受けていたにもかかわらず選定委員会の日程を変更しなかった理由
- 施設利用者を選定委員会委員としなかった理由
- 審査項目に反映した現施設の課題
- 指定管理委託実施後に提案内容の実現状況を確認する方法
- 市の指定管理者制度導入施設における選定委員会委員を対象とした施設見学の実施状況
- 指定管理委託料の積算根拠の明確化を進める必要性
- 同委託料の積算におけるインセンティブの見直し予定

### 〈継続審査中に開催された委員会の主な質疑項目〉

- 選定委員会委員が欠席予定の場合の選定委員会開催の判断基準
- 施設見学により生じた選定過程への疑義に対する市の考え
- 指定管理者候補者の再選定を実施しなかった理由
- 本案が否決された場合の市の対応と市の負担の変動額
- 選定委員会委員と応募事業者との接触禁止に関する市の規定内容
- 今後の指定管理者候補者選定における施設見学の在り方に対する市の考え

### 〈賛成意見の概要〉

- そもそも疑義があったとは考えておらず、公正な選考で選ばれたと認識している。いたずらに審査を引き延ばしたように見受けられ、利用者に不安をもたらしたただけであったと言わざるを得ない。



障害者支援交流センター「あいほうぶ吹田」

## 主な付託案件

### 議案第1号 マンションの管理の適正化の推進に関する条例

マンションの管理の適正化の推進に関する法律に定めるもののほか、マンションの管理の適正化に関し必要な事項を定めるものです。

### 議案第2号 空家等の適切な管理に関する条例

空家等対策の推進に関する特別措置法に定めるもののほか、空家等および法定外空家等に関する施策を推進するために必要な事項を定めるものです。

### 議案第11号 下水道条例の一部改正

新設等に係る排水管の内径等の基準を変更するものです。

建設環境常任委員会には条例案等8件が付託されました。主な付託案件および審査内容・結果は、次のとおりです。

建設環境常任委員会  
〔審査分野〕  
道路、公園、水道、環境など

## 議案第1号 マンションの管理の適正化の推進に関する条例

全員賛成で  
承認

### 〈主な質疑項目〉

- 本案における区分所有の長屋の取り扱い
- 本案に基づき提出される届け出により審査を行う担当行政機関
- 各種届け出の提出期間の詳細
- 市の指導等に従わない管理組合の取り扱い
- 本案と同様の条例を制定している他の自治体との制度の相違点

- マンションの管理に関するこれまでの市への相談内容および適正なマンション管理を推進するための職員体制



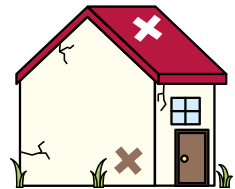
## 議案第2号 空家等の適切な管理に関する条例

全員賛成で  
承認

### 〈主な質疑項目〉

- 相続人が不明または存在しない空家の取り扱い
- 代執行の対象となる空家の戸数および共同住宅における空家の概況
- 危険性が認められる空家に対して実施する緊急安全措置の詳細

- 空家の発生を防ぐための取り組みおよび空家の活用策

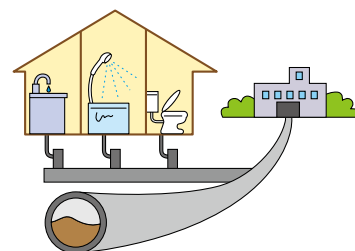


## 議案第11号 下水道条例の一部改正

全員賛成で  
承認

### 〈主な質疑項目〉

- 内径等の基準の変更に伴う下水道使用料への影響



## 100条委員会の調査報告

政務活動費の不明瞭な入出金等に係る調査特別委員会(通称:100条委員会)

設置目的…令和4年10月7日の議会運営委員会において報告された大阪維新の会・吹田の政務活動費の不明瞭な入出金等に係る事項の調査

特別委員会の調査結果について委員長が本会議で報告を行いました。その内容の一部をお伝えします。

なお、100条委員会は、当事者の松尾元議員本人が出頭せず、証言を得られなかったため、完全な真相究明は図れませんでした。関係者の証言や記録の提出などから、以下のとおり結論づけました。(調査報告書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。)

また、本委員会は調査を終え、令和5年2月20日の本会議で廃止しました。



調査報告書

### 調査で判明した事項に対する結論(一部抜粋)

#### 1 キャッシュカードが酷似していたとの説明

政務活動費専用口座のりそな銀行キャッシュカードが、自身の同銀行の同カードと酷似し間違ったとする松尾元議員の弁明は、そもそも自身の同銀行の口座は自動引き落としのみに使用し、同カードは一切使われていないので、取り違えて使用したとはおよそ考えられないこと、また、自身の議員報酬振り込み先として登録していた三井住友銀行の口座の同カードは銀色であり、政務活動費専用口座の同カードが緑色でデザインも全く異なることから、到底信用できない。よって、令和4年度における政務活動費専用口座からの4回にわたる出金は、個人的な用件で何か必要があって出金したものと推察できる。

#### 2 令和2年(2020年)度の不明瞭な入出金

この年度については、大阪維新の会・吹田は会派として政務活動費を使わないと決めていたが、7件のカードによる出金および同額の入金があった。これら7件のうち、4件について、会派の議員も分からない用途不明の出金があったことは、やはり、同元議員自身の個人的な用件で何か必要があって出金したものと推察できる。

#### 3 令和3年(2021年)度の不明瞭な入出金

同元議員自身が不明と主張する3回の入出金についても、会派の他の議員が出金依頼したという証言はなく、個人的な用件で出金したにもかかわらず、隠蔽するために不明などと主張していると言わざるを得ない。

#### 4 不明瞭な入出金の規則性

政務活動費の専用口座の不明瞭な入出金の日については、毎月20日(土日、祝日に当たる場合は、その前の平日)に支払われる議員報酬の支払い日を基点に、その前に出金し、その後と同額を入金することを繰り返しており、規則性が認められる。

#### 5 不明瞭な入出金の一因として想定される事項

当時、同元議員が入居していた集合住宅の賃貸人である独立行政法人都市再生機構から提出された記録により、同元議員は、入居時および令和3年11月に支払った家賃等以外、毎月の家賃および共益費を滞納し、延滞利息を支払うという状態であったこと、最終的に未納家賃を残したまま退去した事実が判明している。このことから、同元議員は生活費などに困窮していたのではないかと推察され、これが、会派の政務活動費を私的に流用することにつながったのではないかと考えても、あながち不合理ではない。

#### 6 議員辞職に至った理由

大阪維新の会・吹田から提出された記録によると、令和4年9月8日に同元議員から同議員団に対して「一身上の都合で議員辞職するから、一切のことは黙っていてほしいという申し出があった」とあることから、不明瞭な入出金について自らの議員辞職をもって幕引きを行い、詳細な公表をしないつもりだったのではないかとと思われる。

#### 7 調査の結論に基づく今後の対応など

- (1)大阪維新の会・吹田による同元議員の告訴
- (2)大阪維新の会・吹田における再発防止策の検討と公表
- (3)各会派における政務活動費の出金手続きの再点検および再発防止策
- (4)議会の調査権限の軽視を防ぐための告発

※同元議員の不出頭等に対して、告発する議案も賛成多数で可決しました。告発書の抜粋は16面に掲載しています。

## 議決結果

## ＜全員賛成の議案および報告案件＞

議案番号	案件名	議決結果
継続審査案件(令和4年11月定例会提案分)		
議案第123号 (令和4年)	吹田市立障害者支援交流センターの指定管理者の指定について	福 可決
報 告		
報告第1号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
条 例		
議案第1号	吹田市マンションの管理の適正化の推進に関する条例の制定について	建 原案可決
議案第2号	吹田市空家等の適切な管理に関する条例の制定について	建 原案可決
議案第3号	吹田市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	財 原案可決
議案第4号	吹田市公平委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	吹田市重度障がい者の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	福 原案可決
議案第6号	吹田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	福 原案可決
議案第7号	吹田市建築審査会条例の一部を改正する条例の制定について	建 原案可決
議案第8号	吹田市建築基準法施行条例の一部を改正する条例の制定について	建 原案可決
議案第9号	吹田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	建 原案可決
議案第10号	吹田市開発事業の手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建 原案可決
議案第11号	吹田市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	建 原案可決
議案第43号	吹田市情報公開・個人情報保護審査会条例及び吹田市個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
予 算		
議案第22号	令和5年度吹田市国民健康保険特別会計予算	予 原案可決
議案第23号	令和5年度吹田市部落有財産特別会計予算	予 原案可決
議案第24号	令和5年度吹田市勤労者福祉共済特別会計予算	予 原案可決
議案第25号	令和5年度吹田市介護保険特別会計予算	予 原案可決
議案第26号	令和5年度吹田市後期高齢者医療特別会計予算	予 原案可決
議案第27号	令和5年度吹田市公共用地先行取得特別会計予算	予 原案可決
議案第28号	令和5年度吹田市病院事業債管理特別会計予算	予 原案可決
議案第29号	令和5年度吹田市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	予 原案可決
議案第30号	令和5年度吹田市水道事業会計予算	予 原案可決
議案第31号	令和5年度吹田市下水道事業会計予算	予 原案可決
議案第33号	令和4年度吹田市一般会計補正予算(第15号)	予 原案可決
議案第34号	令和4年度吹田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	予 原案可決
議案第35号	令和4年度吹田市部落有財産特別会計補正予算(第1号)	予 原案可決
議案第36号	令和4年度吹田市勤労者福祉共済特別会計補正予算(第3号)	予 原案可決
議案第37号	令和4年度吹田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	予 原案可決
議案第38号	令和4年度吹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	予 原案可決
議案第39号	令和4年度吹田市公共用地先行取得特別会計補正予算(第2号)	予 原案可決
議案第40号	令和4年度吹田市病院事業債管理特別会計補正予算(第1号)	予 原案可決
議案第41号	令和4年度吹田市水道事業会計補正予算(第4号)	予 原案可決
議案第42号	令和4年度吹田市下水道事業会計補正予算(第4号)	予 原案可決
その他の議案		
議案第12号	本庁舎改修工事(建築工事)請負契約の締結について	可決
議案第13号	本庁舎改修工事(電気設備工事)請負契約の締結について	可決
議案第14号	本庁舎改修工事(機械設備工事)請負契約の締結について	可決
議案第15号	佐井寺西土地区画整理事業に係る造成等工事請負契約の締結について	可決
議案第16号	(仮称)南千里駅前公共公益施設整備事業契約の一部変更について	可決
議案第17号	吹田市南消防署南正雀出張所建設工事(建築工事)請負契約の一部変更について	可決
議案第18号	吹田市立江坂大池小学校校舎及び吹田市立江坂大池留守家庭児童育成室増築工事(建築工事)請負契約の一部変更について	可決
議案第19号	包括外部監査契約の締結について	可決

定例会の概要  
代表質問  
質問  
常任委員会  
百条委員会  
議決結果  
議会日誌  
4年間の取り組み

Table with 3 columns: 議案番号, 案件名, 議決結果. Includes items like 議案第20号, 議案第46号, and 議員提出議案.

＜全員賛成以外の議案＞

Table with 3 columns: 予算, 議案番号, 議決結果. Lists items like 議案第21号 through 議案第45号 and various 議員提出議案.

※案件名の後ろに記載している文字は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
④…財政総務常任委員会、⑩…健康福祉常任委員会、⑫…建設環境常任委員会、⑬…予算常任委員会

賛否一覧表 全員賛成以外の議案について掲載しています。

Large grid table showing voting results for various proposals across multiple committees. Columns include party names and voting counts for赞成 and反対.

賛成者は○、反対者は×、欠席者は欠としています。
会派名：大阪維新の会=大阪維新の会・吹田、民主・立憲=民主・立憲フォーラム、市民と歩=市民と歩む議員の会、無=無所属クラブ、な=党派はなし

**i** 議案審査の詳細な内容等は、本会議録や委員会記録(図書館等での閲覧のほか、市議会ホームページの会議録検索システムからでも閲覧可能)をご覧ください。

**議 会 日 誌**

11月定例会閉会後の主な議会活動

開催した会議	
12月	20日 政務活動費の不明瞭な入出金に係る調査特別委員会(以下「100条委員会」という。)
	21日 100条委員会
	22日 100条委員会
	27日 100条委員会
1月	12日 100条委員会
	16日 100条委員会
	19日 100条委員会
	23日 議会運営委員会
	30日 100条委員会
2月	1日 100条委員会
	7日 議会広報委員会
	9日 健康福祉常任委員会
	13日 議会運営委員会、100条委員会
	20日 本会議、議会運営委員会、予算常任委員会、予算常任委員会分科会(財政総務、健康福祉)
	27日 本会議、議会運営委員会、予算常任委員会
	28日 本会議
	1日 本会議、議会運営委員会
3月	2日 本会議、常任委員会(財政総務、健康福祉、建設環境、予算)
	3日 財政総務常任委員会、予算常任委員会分科会(財政総務、文教市民)
	6日 予算常任委員会分科会(財政総務、文教市民)
	7日 常任委員会(健康福祉、建設環境)、予算常任委員会分科会(健康福祉、建設環境)
	8日 予算常任委員会分科会(健康福祉、建設環境)
	16日 予算常任委員会
	20日 議会運営委員会
	23日 本会議、議会運営委員会

～告 発～

次の市会議案を可決し、大阪地方検察庁に送付しました。(告発書の一部を抜粋して掲載しています。)

○市会議案第2号 不出頭等に対する告発について

告 発 人 吹田市議会議長 坂口 妙子

被告発人 松尾 翔太

告発の趣旨

被告発人の次項の事実は、地方自治法第100条第3項に該当すると認められるので、同条第9項の規定により告発します。

- (1)記録を提出するよう請求を受けながら、正当とは認められない理由を示し、提出しなかった。
- (2)政務活動費の不明瞭な入出金等に係る調査特別委員会に証人として出頭するよう請求を受けながら、正当とは認められない理由を示し、出頭しなかった。



教えて！議会のこと

「100条委員会」

吹田市イメージキャラクターすいたん

地方自治法第100条を根拠とする議会の調査権「100条調査権」を委任された「100条委員会」による調査に対し、出頭拒否や偽証があった場合、議会には告発する権限が与えられています。

令和5年(2023年)6月臨時会日程(案)

6月臨時会を6月5日(月)から6月12日(月)までの会期で開催を予定しています。なお、以下の日程以外にも委員会等を開催する場合があります。

※本会議での手話通訳の派遣を実施していますので、希望される方は、事前に議会事務局(電話06-6384-2644 FAX06-6338-0920)までご連絡ください。

6月 5日(月) 本会議(役員選考)  
 6日(火) 本会議(役員選考)  
 7日(水) 本会議(議案審議)  
 予算常任委員会(提案説明、資料要求)  
 4 常任委員会  
 (提案説明、資料要求、質疑、討論・採決)  
 予算常任委員会分科会(質疑)

6月 8日(木) 予算常任委員会(討論・採決)  
 12日(月) 本会議(議案審議、討論・採決)



# 今任期の4年間の市議会の主な取り組み

この4年間の議員任期中(令和元年(2019年)5月27日から令和5年(2023年)5月26日まで)は、ほとんどがコロナ禍の時期と重なったため、市民等に必要な支援を迅速に届けられることを最優先としつつも、感染防止対策を図りながら、十分審議する議会運営の取り組みが中心となりました。  
今回は、それらを含めた主な取り組みを紹介します。

## 本会議関係

### ◇新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した議会運営

#### (令和2年4月臨時会から実施)

各定例会および臨時会において新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナウイルス」と表記)拡大防止などの対策を実施し、開催しました。実施した主な対策については、次のとおりです。

#### ○身体的距離の確保

議場での感染防止を図るため、議員について、議席間は通路を含めて距離を確保し、開会時と採決時を除き、一部は別室で議会中継を観るな

どして待機することになりました。なお、議事説明員(議場)に出席する市長や職員等)にも配慮し、ほぼ同じ取り組みを行いました。

○感染リスクを低減させるための提案説明の省略

令和4年2月定例会から、議員と議事説明員ともに可能な限り新型コロナウイルスの感染を回避し、実質的な審議にあたる代表質問や質問(個人質問)、委員会審査をより重視して無事に実施できるようにするため、定例会の本会議初日の提案説明を省略しました。

なお、代わりに、省略した提案説明の内容が分かる事前説明資料を配付するなどして対応しました。

### ◇新型コロナウイルス感染症対策の補正予算案等を審議するための臨時会を開催

#### (令和2年4月をはじめ7回開催)

市民や事業者等を支援する新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン関連予算案などを早急に審議するため、臨時会を計7回開催しました。各臨時会の実施時期は次のとおりです。(議決結果等の詳細は、本会議録や、市議会ホームページをご覧ください。)

- 令和2年4月臨時会(4月30日)
- 令和2年5月臨時会(5月18日)
- 令和2年7月臨時会(7月20日)
- 令和2年8月臨時会(8月28日)
- 令和3年1月臨時会(1月29日)



令和4年2月定例会の様子

### ◇議案書等のペーパーレス化の推進 (令和3年度から実施)

令和4年2月から、市から議員に配付される文書のうち、冊子等の印刷物へのがみ文の添付を省略するとともに、紙媒体での報告文書の配付は、議員単位の選択制としました。

また、令和4年5月定例会から、庁内で印刷する議案書および議案参考資料について、電子データで閲覧などをするため、配付を希望しない議員は、その配付を辞退できるようにしました。

- 令和3年4月臨時会(4月21日)
- 令和4年1月臨時会(1月12、13日)



定例会の概要

代表質問

質問

常任委員会

百条委員会

議決結果

議会日誌

4年間の取り組み

## 委員会関係

### ◇決算常任委員会からの市などに対する提言

#### (令和元年8月などで実施)

決算常任委員会から、市政の課題等について取りまとめ、8項目の提言を、次のとおり市長等に文書で提出しました。提言を受け、市が課題等の解決に向けた取り組みを進め、議会での進捗管理を行いました。(矢印の以下の部分で、市の取り組み状況を掲載しています。)

令和元年8月

#### ○「安心、安全な上・下水道の実現」

発注工事で、業者による不正が発覚したため、再発防止策の策定等を行うこと。↓【実施済み】

令和元年11月

#### ○「救命救急体制の強化」

救急出動件数が増加傾向にあるため、救命救急体制を一層強化すること。↓【検討中】

#### ○「政策的経費の取り扱い」

市で新規事業等を実施する際、他の予算から流用するのではなく、議会での審議を経る予算案を

提出すること。↓【実施済み】

#### ○「小・中学校の暑と対策」

特別教室への空調設備整備を早急に進めること。↓【実施済み】

#### ○「中高年のひきこもり対策」

ひきこもった中高年が、社会的に孤立しないよう、相談・支援体制の確立などの必要な施策を実施すること。↓主たる相談窓口は、生活困窮者自立支援センターとなっているが、相談・支援体制の構築について、関係部局との連携を図るとともに、ひきこもり対策を継続課題として協議していく。

#### 【一部実施済み】

#### ○「福祉避難所の体制整備」

支援を要する高齢者や障がい者等のための福祉避難所について、早急に体制を整備できるよう、積極的に支援すること。↓全施設で運営マニュアルを策定したが、福祉避難所運営調整会議において、情報共有や諸課題の検討を進めており、必要に応じてマニュアルを改訂し、災害時の迅速な対応に取り組む。【一部実施済み】

令和2年10月

#### ○「消防職員の職場環境の整備」

24時間体制で任務に当たる消防職員にとつて、働きやすい快適な環境となるよう、仮眠室や更衣室等を整備すること。↓仮眠室が個室化されていない署などについて、応急的に一部改善を行った。

#### 【一部実施済み】

令和4年10月

#### ○「不登校児童・生徒の支援」

以前と比べ顕著に増加している不登校児童・生徒について、一人一人に寄り添った具体的な支援策や環境づくりを、関係機関等と連携し、責任を持って早急に取り組むこと。↓【検討中】



令和4年決算常任委員会の様子

#### ◇「北大阪健康医療都市等のまちづくり検討特別委員会」の設置

#### (令和元年6月臨時会で設置)

旧国鉄吹田操車場の跡地等における健康・医療のまちづくりや低炭素まちづくりの実現を図るとともに、関連整備について検討するため、「北大阪健康医療都市等のまちづくり検討特別委員会」を、前任期に引き続き設置しました。

なお、設置目的を達成したため、本特別委員会は令和2年5月定例会で廃止しました。

#### ◇「防災・減災等対策特別委員会」の設置

#### (令和元年7月定例会で設置)

平成30年に発生した地震や台風等の自然災害への対応について、議会内の対応も含めて検証するとともに、災害に強いまちづくりや安心安全のまちづくりを目指し、初動態勢等について検討するため、「防災・減災等対策特別委員会」を設置しました。

なお、設置目的を達成したため、本特別委員会は令和3年5月定例会で廃止しました。



100条委員会の様子

◇政務活動費の不明瞭な入出金等に係る調査特別委員会の設置(通称：100条委員会※)(令和4年10月臨時会で設置)  
令和4年10月7日の議会運営委員会で報告された大阪維新の会・吹田の政務活動費の不明瞭な入出金等について、調査するため、「政務活動費の不明瞭な入出金等に係る調査特別委員会」を設置しました。  
なお、調査結果を示した委員会報告書を令和5年2月定例会で可決したため、本特別委員会は廃止となりました。  
※100条委員会の詳細については、16面の「教えてー議会のこと」をご覧ください。



令和2年4月臨時会の様子

◇委員会等のオンライン開催を可能とする委員会条例などの改正 (令和2年度に改正)  
災害や感染症流行のため、各委員(議員)などが委員会室等への参集が困難であると委員長などが判断した場合、オンラインでの出席を可能とするため、委員会条例の改正などを行いました。  
◇議員報酬の特例に関する条例を制定  
(令和2年4月臨時会で議決)  
新型コロナウイルス対策費に充てるため、議員報酬を令和2年5月から10月まで2割減額する特例条例を令和2年4月臨時会で可決し、制定しました。

議員報酬等

広報関係

◇政務活動費による視察の報告書の公開  
(令和元年度分から実施)  
政務活動費について、より使途の透明性を確保するため、令和元年度分から、各会派から提出された視察の報告書を市議会ホームページに公開するようにしました。  
また、視察等の実施状況を一度に確認できるようにするため、視察・研修先などの一覧をホームページに掲載するようにしました。

◇市議会ホームページのリニューアル  
(令和4年10月から実施)  
利用者の誰もが見やすく探しやすいホームページにするため、全ページをスマートフォン対応にしました。  
また、障がい者の方への合理的配慮のため、音声読み上げソフトにも対応できるようにしました。

◇本会議のライブ中継における字幕表示機能の導入  
(令和4年11月定例会から導入)  
インターネットによる議会中継については、市民に開かれた議会を目指すため、平成24年3月定例会から実施しています。令和4年11月定例会からは、障がい者の方への合理的配慮のため、A-Iを活用した音声認識技術により、本会議のライブ中継において、議員などの発言をリアルタイムで中継画面に字幕表示していきます。



字幕表示画面のイメージ図

映像  
ライブ中の映像が表示されます。

字幕  
字幕が表示されず。音声認識システムで自動的に改行されます。

その他

◆緊急時初動対応マニュアルの策定（令和2年5月に策定）

今後高い確率で南海トラフ巨大地震が発生することが危惧される中、いかなる災害が発生したとしても、市議会における共通認識の下、すべての議員が発災直後から迅速かつ円滑な行動がとれることが重要と位置づけました。その指針を作成するため、防災・減災等対策特別委員会で協議を重ねた結果、緊急時初動対応マニュアル「地震災害編」および「風水害編」を策定し、令和2年5月から運用することになりました。

その後、新型コロナウイルスや同レベルの感染症が発生した場合を鑑み、感染状況に応じた感染予防策のほか、議員本人が感染または濃厚接触者となった場合にとるべき基準などを示した「感染症編」を令和3年5月から追加しました。なお、新型コロナウイルスに関する国の方針の変更等を反映するため、適宜、本マニュアルを一部変更しています。



◆市議会関係書類への押印の廃止（令和3年度から適用）

全国市議会議長会が、議会で取り扱う文書について、原則、押印を廃止する考えの下、市議会書式例の見直しを行いました。それを参考に、本市議会で取り扱っている書式の見直しを行い、令和3年9月定例会から運用を開始しました。

ただし、身体的な理由により自ら署名できない市民などにも配慮し、単に押印を廃止するのではなく、記名押印も残すようにしました。

◆ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議文の提出（令和4年3月に提出）

「ロシアによるウクライナ侵略行為に対し平和的解決を求める決議」を令和4年2月定例会において全員賛成で可決し、在日ロシア連邦大使館に送付しました。

◆議員に貸与したタブレット端末末へのグループウェアの導入（令和4年9月から導入）

議員に貸与したタブレット端末のさらなる活用や、データ保存容量が十分な文書共有機能を確保するとともに、市議会と市政の情報共有や議員間のコミュニケーションの促進を図ることを目的として、グループウェアを導入しました。

なお、これに伴い、平成30年1月から導入していたクラウド型議会文書共有システムは、廃止しました。



議員に貸与したタブレット端末

◆議会個人情報保護条例の制定（令和5年4月に施行）

「新個人情報保護法」が令和5年4月から施行することとなり、全国的な共通ルールの下、地方公共団体の個人情報保護制度が運用されることになりました。そのため、全国市議会議長会が作成した条例（例）などを参考に、本市議会として、必要な条例を令和5年2月定例会で議決して制定しました。

なお、令和5年4月から、条例のほか、細目を定めた規程を施行し、実際に運用を開始しています。

